

国道220号法面崩壊について（第4報）

平成24年6月22日 17:40 現在

1. 概要

大隅河川国道事務所管内の国道220号垂水市牛根境付近にて法面崩落による全面通行止を継続中。

現地は未だ昨日の大雨の影響と思われる出水等が見受けられるため、本日の応急復旧の着手は見送り、崩壊現場状況および気象状況を見極めた上で、応急復旧に着手する予定。

今夜は照明車からカメラによる監視を実施予定。

2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、警戒体制 を発令。

○本部体制履歴

- ・ 6/22 10:45 警戒体制

3. 道路

【規制区間の状況】

- ・ 6/22 10:45頃、国道220号垂水市牛根境（178k000ホ^ホ付近）において法面崩落による全面通行止を開始
- ・ 応急復旧工事の実施にあたって、現在、小崩落が起こっており、2次災害のおそれがあるとの判断から、無人化施工機械（遠隔操作が可能な建設機械）3台を現地に向けて派遣。（復旧工法については、現在実施中のヘリ調査結果をもとに検討予定）
- ・ 夜間監視のため、照明車2台を現地に配置。
- ・ 現地は未だ昨日の大雨の影響と思われる出水等が見受けられるため、本日の応急復旧の着手は見送り、今後の崩壊現場状況および気象状況を見極めた上で、応急復旧に着手する予定。

【迂回路の状況】

- ・ 迂回路については、別添「迂回路図」参照

【その他】

- ・ TEC-DOCTOR（鹿児島大学 井村隆介 専門分野：防災地質）による現地調査を開始（13:15～）
- ・ 防災ヘリコプター（はるかぜ）による上空からの調査を開始（15:46～）

※TEC-DOCTORとは※

九州地方整備局が所管する管内の河川・道路・砂防等関係業務において、災害復旧等の技術的指導・助言を行う外部専門家（学識経験者）による『九州地方整備局緊急災害対策派遣ドクター（TEC-DOCTOR）制度』を創設。

※下線部は、今回更新情報

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 企画課長補佐 大波多 昌志
電話:092-414-7301(本部直通)
FAX:092-481-9210(本部直通)

迂回路図

迂回路
一般国道10号

国分敷根交差点

通行止め区間

牧之原交差点

被災箇所

国道迂回路
504号

市役所前

迂回路
県道71号







